

いざなぎ学園だより

第9回講座 令和6年8月28日（水）



令和6年8月28日(水)、午前10:00から淡路文化会館講堂にて、株式会社ほくだん地域新電力事業部長の井手大剛氏をお招きし、第9回講座「淡路島のエネルギーについて（脱炭素）」を開催しました。

学園生73名、単発受講生1名が受講し、再生可能エネルギーへの取り組みについて学びました。

◎学園生のみなさんの感想 振り返りシートから（抜粋）

- 停電、断水と生活に直結するエネルギーが遮断されて困っている様子が報道されると、いつ自分の身に起きても不思議ではないので、島内（近くで）エネルギーを作ることができれば直ぐに復帰でき普通に生活できるようになると素晴らしいと思います。“あわぢから”さんに期待したいと思います。
- 淡路市の取りくみを知り、すごいと思いました。廃棄の時の費用の心配をしていたのですが火事の心配もあることがわかり、今日参加して本当に良かったです。課題山積みですが解決策を今から考えます。
- CO2削減には太陽光発電が欠かせない。2030年までに農業と食の自給率100%、エネルギー自給率100%をめざしている、循環式、再生エネルギー、壮大なプロジェクト、実際淡路市で実現しようとしている。2030年それまで生きられているかわからないけれどこれからの時代にかかせないと思う。淡路から発信できていることが素晴らしいと思いました。
- 2050年ゼロカーボンシティ表明についての説明、兵庫県内初地域新電力を設立の経緯。（株）ほくだんさんは市で発電した電気を買って販売していることから、地域で電気を作ったのを地域に還元しているという事になっている、とのことでした。（株）ほくだんさんには脱炭素に向けて頑張っているのが素晴らしいことだと感じました。
- あわじ環境未来島構想は当学園の受講で耳にして来ました。今回はエネルギーについて学ぶことができましたと思います。自然災害が多発している今、生命を持続させていく努力をしなければと思います。足元を見つめ直して省エネ、食（エネルギー）の自給自足を心がけたいと思います。これからの“あわぢから”に期待します。
- （株）ほくだんの取組、初めて知りました。あわじ環境未来島構想の一翼をになっていることを理解できました。エネルギー自給率100%を目指してよろしくをお願いします。
- 淡路市×（株）ほくだん×シンエナジーで淡路島内の＜エネルギーの持続＞に取り組んでいるとの現状を知ることができて安心しました。2030年、2050年を見ずえた計画、目標設定が子供や孫達の未来が明るい方向に進んでいくのか楽しみになりました。ありがとうございました。
- 2021年から始まった淡路市での「ローカルSDGs」が順調に発展するといいいですね。

兵庫県立淡路文化会館

〒656-1521 兵庫県淡路市多賀600

TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

<https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

